

令和6年度

# 芸術系

## 教科等担当教員等

### 全国研修会



令和元年にスタートした「芸術系教科等担当教員等全国研修会」は、今年で6回目の開催を迎えました。本年度は参集での開催を中心に、9月～10月・12月の全2回を、研修会ウィーク形式でオンライン開催を織り交ぜて開催いたします。新しい学習指導要領に基づいた理論及び実技等を合わせた実践形式の研修プログラムにより、指導方法や評価方法等の工夫改善について考える、充実した学びの機会に是非ご参加ください。

#### 開催期間

全国研修会は、全2回開催いたします

#### 第1回

2024.9.30(月)～10.4(金)

#### 第2回

2024.12.9(月)～12.13(金)

小学校	音楽科／図画工作科
中学校	音楽科／美術科
高等学校	芸術科（音楽、美術、工芸、書道）

主催：文化庁  
協力：全国芸術系大学コンソーシアム及び協力大学

全国研修会は、学習指導要領の趣旨を踏まえた理論研修・実践研修を実施し、指導方法や評価方法等の工夫改善等につなげ、初等中等教育の芸術系教科等における指導の充実に資することを目的とします。

#### 研修スケジュール／ご参加について

9:00	9:30	9:45	10:45	11:00	12:00	13:00	17:00
受付	開会式	理論研修 (教科・科目別)	休憩・準備	テーマ別 実践研修 (教科・科目別)	昼食	テーマ別 実践研修 (教科・科目別)	

※一部オンライン配信においては、開始時間が変更となる場合があります。詳細については、開催前にご案内させていただきます。

#### 教科・科目別※の「理論研修」

芸術系教科の意義、役割、新学習指導要領の趣旨を踏まえた今後の学習指導における課題や可能性、学習指導の在り方や学習評価等について、文化庁視学官・教科調査官が講義を行います。

※ 小学校音楽科、小学校図画工作科、中学校音楽科・高等学校芸術科音楽、中学校美術科・高等学校芸術科美術及び工芸、高等学校芸術科書道の5分科会に分かれて実施します。

#### 対象

- 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の教諭等であり芸術系教科等を担当している方又は予定している方(非常勤講師等を含む)
- 都道府県、指定都市教育委員会等の指導主事等

#### テーマ別 実践研修(教科・科目別)

芸術系大学の教員や広く活躍している芸術家等が講師を務め、学習指導要領の趣旨やねらいの実現を目指した授業を展開するための実践手法を中心に、芸術系大学等の特性を生かした実践的な内容を学びます。

#### 受講要件

- 参集研修：担当大学が指定する会場にて終日研修プログラムを受講できること
- オンライン研修：受講生側にて受講に必要な機器、環境(受講場所等)を準備し、リモートで終日研修プログラムを受講できること

#### 参加手続き等

参加手続き等の詳細については、教育委員会等を通じてご連絡いたします。

# 芸術系教科等担当教員等全国研修会

## 令和6年度 全国研修会の研修テーマ等について

第1回

分科会番号	校種・教科	大学	9/30	10/1	10/2	10/3	10/4	研修テーマ	定員(名)	実施方法
小音1	小学校音楽科	エリザベト音楽大学			●			音楽の授業をより豊かにするポイント～ICTと音楽づくり、歌唱・合唱指導の要点、低学年の音楽表現の在り方	50	オンライン
小音2	小学校音楽科	東京藝術大学				●		小学校から中学校の連携を図った音楽科の授業づくり： 「声を使った音楽表現」による学びの連続性	50	対面
小図1	小学校図画工作科	東京造形大学					●	材料と場所や空間の関わり方がわかる！ 高学年の造形遊び「音が生まれる場所」(ICTの活用含む)	20	対面
小図2	小学校図画工作科	東京造形大学					●	造形活動とサステナビリティ 自然材からかたちに	10	対面
中高音1	中学校音楽科・高等学校芸術科(音楽)	愛知県立芸術大学	●					楽器を通した西洋音楽の理解 ～弦楽器、管楽器から音楽の魅力を探る～	40	対面
中高音2	中学校音楽科・高等学校芸術科(音楽)	エリザベト音楽大学			●			授業展開と指導実践のヒント～楽譜の理解、合奏・合唱の指導実践から探求の時間まで	50	オンライン
中高音3	中学校音楽科・高等学校芸術科(音楽)	東京藝術大学				●		日本歌曲の特徴を捉え、歌唱表現を創意工夫しよう！	50	対面
中高美1	中学校美術科・高等学校芸術科(美術)	秋田公立美術大学	●					日本画の材料と表現技法	20	対面
中高美2	中学校美術科・高等学校芸術科(美術)	金沢美術工芸大学	●					折り紙建築によるデザインプロセスの理解を深める授業の展開	20	対面
中高美3	中学校美術科・高等学校芸術科(美術)	武蔵野美術大学				●		「鑑賞」と「展示」から学ぶ、アートの「もの」「人」「場」の関係	25	対面
中美高工1	中学校美術科・高等学校芸術科(工芸)	秋田公立美術大学	●					錫による、技法・表現の可能性 一鍛金皿の制作を通して一	15	対面
中美高工2	中学校美術科・高等学校芸術科(工芸)	東京藝術大学	●					金鍍による造形(鍍金) 一鍛造技法によるカタラー制作一	20	対面
中美高工3	中学校美術科・高等学校芸術科(工芸)	東京造形大学					●	アイデアを形に 一3Dプリンターを活用したマケット作成一	20	対面
高書1	高等学校芸術科(書道)	東京学芸大学	●					書道教育における「漢字仮名交じりの書」の創作指導の工夫 一作品の構想と表現の工夫の視点一	40	対面

第2回

分科会番号	校種・教科	大学	12/9	12/10	12/11	12/12	12/13	研修テーマ	定員(名)	実施方法
小音3	小学校音楽科	東京藝術大学	●					系統性を見据えた音楽科の学習指導計画の工夫	40	対面
小音4	小学校音楽科	エリザベト音楽大学		●				音楽の授業をより豊かにするためのポイント ～低学年の音楽表現、ICTと音楽づくり～	50	対面
小図3	小学校図画工作科	東京造形大学					●	材料と場所や空間の関わり方がわかる！ 高学年の造形遊び「音が生まれる場所」(ICTの活用含む)	20	対面
小図4	小学校図画工作科	東京造形大学					●	造形活動とサステナビリティ 自然材からかたちに	10	対面
小図5	小学校図画工作科	常葉大学					●	幼・小の連携についての理解と実践力の向上を目的とし、幼児から児童への発達特性を踏まえ、図画工作科で低学年から高学年へと拡張されてきた「造形遊びをする活動」についてその内容を理解し、実践力を養う。	20	対面
中高音4	中学校音楽科・高等学校芸術科(音楽)	エリザベト音楽大学		●				授業展開と指導実践のヒント～楽譜の理解、合唱曲の分析と指導実践、合奏指導のポイント	50	対面
中高音5	中学校音楽科・高等学校芸術科(音楽)	沖縄県立芸術大学		●				沖縄の伝統音楽の楽しみ方・考え方 ～歌三線から沖縄の伝統音楽の魅力を探る～	20	対面
中高音6	中学校音楽科・高等学校芸術科(音楽)	京都市立芸術大学					●	指揮者の実践	30	対面
中高音7	中学校音楽科・高等学校芸術科(音楽)	東京藝術大学					●	「創作」と「鑑賞」の相互関連を図った授業づくりの探究	40	対面
中高美4	中学校美術科・高等学校芸術科(美術)	金沢美術工芸大学	●					折り紙建築によるデザインプロセスの理解を深める授業の展開	20	対面
中高美5	中学校美術科・高等学校芸術科(美術)	武蔵野美術大学			●			塑造による自刻像制作 その塊の存在感と空気感	25	対面
中高美6	中学校美術科・高等学校芸術科(美術)	京都市立芸術大学					●	京芸のそうきそ～大学初年次プログラム『総合基礎実技』の授業から学ぶ～	40	対面
中高美7	中学校美術科・高等学校芸術科(美術)	女子美術大学					●	線による造形 一編組法を用いたタペストリー制作と評価の実際一	10	対面
中高美8	中学校美術科・高等学校芸術科(美術)	常葉大学					●	「造形的な見方・考え方」を働かせて、見て考える鑑賞活動とICT機器を活用して描く表現活動	20	対面
中美高工4	中学校美術科・高等学校芸術科(工芸)	東京藝術大学					●	「工芸作品」と「作品をつくる道具」についての鑑賞教育	20	対面
中美高工5	中学校美術科・高等学校芸術科(工芸)	東京造形大学					●	アイデアを形に 一3Dプリンターを活用したマケット作成一	20	対面
中美高工6	中学校美術科・高等学校芸術科(工芸)	常葉大学					●	つかみはOK！手と素材が導く意外な造形 自分だけのフックや取っ手をつくっちゃおう！	12	対面
高書2	高等学校芸術科(書道)	福岡教育大学			●			書道教育における「漢字仮名交じりの書」の創作指導の工夫 一作品の構想と表現の工夫の視点一	40	対面